

早稲田大学 法学部 世界史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	選択問題は34題で昨年と同じ(2016年は35題)。論述250～300字(2015年は200～250字、2016・17年は250～300字)1題で形式・分量ともほぼ同じ。2015年の正誤判定は中国関係に難題が目立ち、2016年はやや易化、2017年はさらに易化した但今年は一転して難化した。論述は2011年の中国現代史、2012年は近代の欧州の英・蘭関係、2013年は19世紀末から国際連盟にいたる戦争回避の動き、2014年の中国現代史、2015年は「民族自決」の理念波及、2116年は「航海法」。論述問題のレベルはほぼ昨年と同じ。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	中国史の各時代の社会経済	設問1:②の「河姆渡遺跡」(浙江省)は「長江下流」「粳穀」から即答できる。新石器文化としては半坡遺跡(陝西省)も該当するがこちらは華北の仰韶文化の遺跡である。設問2:③の「重量有輪犁」は中世ヨーロッパの代表的農具。設問3:③の「184年」は黄巾の乱の年代。後漢の滅亡は220年である。設問4:③の均田制を実施した北魏の皇帝は「太武帝」(3代皇帝)ではなく「孝文帝」(6代皇帝)。実施は485年である。設問5:②の「露田」は唐代の「口分田」に該当する穀物耕作地。設問6:①の靖康の変(1226～27)で北方に拉致されたのは「高宗」ではなく「欽宗」。高宗は南宋を建国した皇帝である。昨年は澶淵の盟(1004)関係が出ていたので連年の出題となる。設問7の「喫茶の習慣」普及は④の「唐代」。設問8:「絹織物業で繁栄」した都市は蘇州(江蘇省)と杭州(浙江省)。語群からは③の蘇州を選ぶ。揚州は長江北岸の大運河に面した物資の集散地。広州と泉州は貿易港である。設問9の④のコバルトは「日本」ではなく「西方(イスラーム世界)」からもたらされた。	標準 (一部易)
II	アメリカ独立革命と合衆国の形成に与えた古代・中世の経験	設問1:イのジェファソンは「都市商人」ではなくヴァージニアの「大農園主(プランター)」である。設問2:エのスウィフトが『ガリヴァー旅行記』を発表したのは1726年、18世紀前半である。同時代にはデフォーがおり『ロビンソン＝クルーソー』は1719年の発刊。どちらも貿易・植民活動が活発化した時代相を反映している。設問3:イは「デーン朝(1016～42)」が誤り。1066年のヘースティングスの戦い当時のイングランド王ハロルドは復活したアングロサクソン系王統につらなる人物。設問4:ウの独立戦争の発端となったコンコードでの衝突は1775年4月。この時期は1773年ボストン茶会事件→1774年ボストン港閉鎖・第1回大陸会議→1775年レキシントン・コンコードの戦い・第2回大陸会議(ワシントンを総司令官に任命)→1776年独立宣言と間断なく重要事項が続いている要注意時代。	標準 (一部難)

番号	出題内容	コメント	難易度
II		<p>設問5：アのマラ톤の戦いの際はスパルタは参戦していない。やや細かいがアテネ(1万)とともに戦ったのは少数(1000)のプラテーエー軍だった。設問6：アのアメリカ連合規約(1777)では中央政府の権限は大幅に制約され各州が主権を有していた。中央政府は徴税や常備軍の設置を禁じられていた。設問7：ウはローマの暦についての設問だが難しい。先ずわかりやすいユリウス暦だが「太陽暦と太陰暦を融合」ではなく「太陽暦」(エジプト由来)が正しい。ユリウス暦導入以前については参考書類でもあまり説明を見ないが、メソポタミア由来の太陰太陽暦であった。これは直接には古代ギリシアの影響である。設問8：エの「民会」だが、共和政期のローマには3つの民会があったが、平民の民会(平民会)は遅れて成立(前471年頃)している。「ローマ共和政初期」には存在していなかった。設問9：アの「ペロポネソス同盟」は前6世紀に成立していたものでデロス同盟(前478頃結成)に対抗してつくられたものではない。デロス同盟については昨年を引き続いての出題。</p>	
III	ポルトガル関係史	<p>設問1：1のフェニキア人は「インド=ヨーロッパ語系」ではなく「セム系」。2のフェニキア文字は子音22文字からなり母音はない。設問2：4のアイユーブ朝(1169～1250)は「シーア派」ではなく「スンナ派」の王朝。シーア派はファーティマ朝(909～1171)。3のイドリース朝は文化構想学部でも出題されていた。設問3：2のカリカット・ゴア・マカオは基礎事項。カリカットについてはガマの到達年(1498)、ゴアは要塞建設(1510)、マカオは来航(1517)と居住権獲得(1557)・中国への返還(1999)といった年代も注意したい。設問4：2の国王至上法(首長法)(1534)は「エリザベス1世」ではなく「ヘンリ8世」。設問9：4のブラジル帝国は1889年に共和政となっている。共和政移行は難しいが、帝政が第二次大戦までという文言には違和感を感じるはずである。設問6：4の2009年に発効してEU大統領職が新設されたのは「ローマ条約」ではなく「リスボン条約」。設問7：1「セウタ」は細かいが消去法でも十分対処できる。設問8：3「サラザール」はポルトガルの独裁者としてスペインのフランコを支援している。</p>	標準
IV	第二次世界大戦後の東アジア	<p>設問1：1951年の日米安全保障条約締結以前という問だが、イの東京裁判(1946～48)開廷は簡単に選べる。設問2：イの朝鮮総督府は1910年の韓国併合とともに設置され、当初から天皇直属(軍政下)であった。三・一運動が契機となったのは武断政治から文化政治への転換である。ロの日韓基本条約(1965)当時の韓国大統領は「李承晩」ではなく「朴正熙」。ハの金日成は1948～72年まで首相、72年から94年の逝去までは主席という肩書で独裁体制を維持した。その国家体制は子の金正日、孫の金正恩へと継承されている。</p>	標準 (一部難)

番号	出題内容	コメント	難易度
IV		<p>設問3：イのアメリカの中国承認は1979年、日本は1972年である。ロの大躍進政策(1958)は極端な農業集団化政策であり人民公社が設立された。その結果は餓死者数千万人という惨状で、劉少奇が国家主席となって調整政策という名の復興策がとられた。エは明白な誤り。中華人民共和国が国連安保理常任理事国となるのは1971年の中国の国連代表権交代のあと。設問4：ロとハの誤りは明らか。ニは一見すると正文とも見えるが、問題文の「20世紀末まで」に注意が必要。台湾生まれの「本省人」である李登輝が総統に就任したのは1988年である。設問5：イ・ハ・ニが誤文だが逡巡を強いられたりするレベルの誤りではない。ロは正文だが、「キューバの領有をめぐる」というのは事実に違いないが、当時の米政府はスペインの非人道的支配に苦しむキューバやフィリピンの人々を助けるための戦争とアピールしていた。設問6：ロが正解だが、インドネシア共産党結成(1920)が目にとまれば即決である。インドネシア共産党は「アジア最初の社会主義政党」。ただ1926～27年の武装蜂起で壊滅し、そのあとにスカルノがインドネシア国民党(1928)を結成した。設問7：イのバオ＝ダイが元首として擁立されたのはベトナム国(1949～55)。ハのホー＝チ＝ミンはベトナム民主共和国建国(1945年9月2日)と同時に大統領となった。ニのゴ＝ディン＝ディエムは米に擁立されてベトナム共和国(1955～75)初代大統領となった人物。設問8はやや不自然な空欄補充だが難しくはない。</p>	
V	18世紀から19世紀末にいたる露の南下政策と東アジア進出	<p>2015年「民族自決」、2016年は「ドイツ統一」、2017年「航海法」と来て、今年「露の南下政策と東アジア進出」。主語はロシアで3年連続の欧州の大国だったが、今年は南下政策と東アジア進出なので守備範囲は黒海・東地中海域から極東までと広い。エカチェリーナ2世時代から入ってクリミア戦争(1853～56)、その敗北を転機として東アジアを愛琿(1858)・北京条約(1860)での領土拡大を述べ、そこで西に話題を転じて露土戦争(1877～78)の最低限の背景(ドイツ統一)からサン＝ステファノ条約(1878)と英・墺が反発しビスマルクが調停したベルリン条約(1878)で再度挫折。ここまでが指定語句だが、「19世紀末」という問題設定に従って、東アジアでの三国干渉(1895)と東清鉄道敷設権獲得(1897)、旅順・大連租借(1898)でしめる。指定用語の数そのものは妥当だが、話題が東西に振れるので書きづらい。字数から事実関係を追いかけるのが精一杯である。歴史的な文脈を示すには露土戦争の結果としてのバルカン情勢、三国干渉・東清鉄道・遼東半島南部租借から日本・イギリスとの対立そして日露戦争に至る流れを暗示したいところであるが字数からいって無理である。そのように考えながら、もっと書きたいことがたくさんある感を充満させる。</p>	標準

[総合コメント]

法学部の正誤判定問題は近年易化の傾向にあったが、2015年は正誤判定のポイントに中国史関係で細かいものが目立ち難化した。2016年は一転して易化し、2017年は全体としてさらに易化した。そして今年の正誤判定は明らかに難化した。正誤のポイントが細かく、山川用語集の説明文でも追いつかないものがある。消去法と組み合わせてなんとか正解に至りたい。早大の他学部の問題に癖ありの正誤判定問題が頻出しているので、そちらもこなして対応力を磨くのがよい。昨年最大の特徴として、山川用語集の新版には出ているが旧版にはない部分からの出題が目立った。論述問題は、ただ文章の体裁だけをととのえるなら指定語句を時代順に配列し、坦々と説明をつなげればなんと書けることは書ける。しかし、文にはなっていない「論(歴史的文脈)」にはならない。出題パターンは国立難関校(東大・京大)の論述問題の小型版である。東大・京大の2次試験を教材にした論述演習がおすすめである(というより早大法には東大・京大本命組が大量に受験している)。早大法学部をめざす受験生は、ライバルは東大・京大本命組であると認識して受験対策を講じなくてはならない。